
ながら勉強会 B（事例検討）2021 年度

精神分析的な理解と介入を習得するにあたり、

1. セミナーや文献講読を通して、心のメカニズムや心の発達論、技法論を学ぶ。
2. 事例に関してスーパービジョンを受ける。
3. 仲間を作る／研修グループに所属する。

ことが臨床家の足場と自信を作っていくと私は考えています。

そこで、当室で個人スーパービジョンを受けている方・精神分析を学びたい方を対象にして、2020 年から定期的な「文献講読会」と「事例検討会」を開催しています。ZOOM を使い、夜の時間帯に開催することで、お忙しい皆様が学びやすくしています。

勉強会 B2020 年度では、2020 年度に引き続き、報告者の事例を元にして、各自がアセスメントを作成する訓練を重ねます。アセスメントは実践の要です。基本的な力をつけるべくご参加ください。

2021 年 2 月
ながら心理相談室 主宰・臨床心理士 堀 恵子

実施内容

ファシリテーター：堀 恵子（臨床心理士、公認心理師、精神分析学会認定精神分析的な心理療法士）

2021 年 5 月～2022 年 3 月 ZOOM を使いますので、自宅で受講できます。

全 10 回 第 3 木曜日 21 時～22 時半（2021 年 5 月 20 日～3 月 17 日）+ オフ会（年度末開催予定）

回	日時	内容
第 1 回	5 月 20 日	自己紹介、アセスメントに必要なことの共有
第 2 回	6 月 17 日	事例報告と質問
第 3 回	7 月 15 日	アセスメントの共有
第 4 回	8 月 19 日	事例報告と質問
第 5 回	10 月 21 日	アセスメントの共有
第 6 回	11 月 18 日	事例報告と質問
第 7 回	12 月 16 日	アセスメントの共有
第 8 回	2 月 17 日	事例報告と質問
第 9 回	3 月 17 日	アセスメントの共有
第 10 回	未定	オフ会

形式

参加者が事例を提示します。参加者は事例提供者にアセスメントに必要なところを質問します。次の回までに、参加者全員が、その事例についてのアセスメントを書面にして提出します。次の回に参加者のアセスメントをシェアし検討します。

参加条件および参加料金

参加条件：当室でスーパービジョンを受けている方・精神分析を学びたい方。
学習意欲のある方に参加していただきたく、7割以上参加を求めます。

料金：

スーパーバイザー（月2回以上利用） 年間1万円

スーパーバイザー（月2回未満利用）と外部参加者 年間2万円

※本料金で、ながら勉強会B（事例検討）にも参加していただけます（1つでも2つでも参加料金は同じです）。

申込方法

メールのタイトルに「ながら勉強会：氏名」と書き、本文に、参加したい会の名称、氏名、所属、携帯電話番号、メールアドレスをご記入の上、メールにてお申し込みください。

申込先：ながら心理相談室 メール keiko.h@nagarashinri.com FAX 058-295-6703

申込期限：2021年4月10日（土）

定員：15名 先着順

参考文献

以下の文献はクライン派精神分析に関するものですが、初心者にも読みやすく、ぜひご自分でも読んでいただきたいものです。ご参照ください。

『臨床現場に生かすクライン派精神分析』 岩崎学術出版社 I・ザルツバーガー・ウィッテンバーグ著
平井正三監訳

『子どもの精神分析的な心理療法の基本』 誠信書房 鶴飼奈津子著
タビストック 子どもの心と発達シリーズ『子どもを理解する<0-1歳>』『子どもを理解する<2-3歳>』『特別なニーズを持つ子どもを理解する』 岩崎学術出版 平井正三、武藤誠監訳

『こどものこころのアセスメント』 岩崎学術出版 M.ラスティン/E.カグリアータ編 木部則雄監訳

『現代クライン派入門』 岩崎学術出版 カタリーナ・ブロンスタイン編 福本修・平井正三監訳

『母子臨床の精神力動』 岩崎学術出版 ジョーン・ラファエル・レフ編 木部則雄監訳

『児童青年心理療法ハンドブック』 創元社 モニカ・ラニャード編著 平井正三他監訳